

平成29年度 国分寺中学校校長室だより

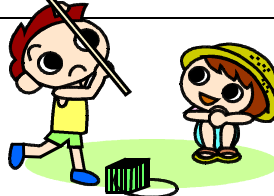
夏休み号

いしずえ



学校教育目標

- ・意欲を持ち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



毛涯章平先生の名前をご存じでしょうか。先生は、長野県で40年教員として勤務され、その後豊丘村で長年にわたり教育委員を勤められた方です。

先生の残された言葉に「教師十戒」というものがあります。昨年度は、この言葉を先生方に紹介し、教師としての在り方について何度か話をさせていただきました。

毛涯章平の教師十戒

- 子供を馬鹿にするな。教師は無意識のうちに子供を目下のものと見てしまう。子供は、一個の人格として対等である。
- 規則や権威で、子供を四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ。さもないと子供の心が窒息し枯渇する。
- 近くに来て、自分を取り巻く子達の、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- 褒める言葉も叱る言葉も真の「愛語」であれ。「愛語」は、子供の心に沁みる。
- 暇をつくって子供と遊んでやれ。そこに、本当の子供が見えてくる。
- 成果を急ぐな。裏切られても、なお信じて待て。教育は根比べである。
- 教師の力以上には、子供は伸びない。精進を怠るな。
- 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちを起こさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子供の心を暗くする。
- 子供に素直に謝れる教師であれ。過ちはこちらにある。
- 外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。

この十戒は学校の職員だけでなく、家庭での教育にも参考になる言葉ではないかと思い紹介させていただきました。

また、先生は次のような言葉も残されています。

『一番とは一人のみ達し得るの座なり、一流とはすべての人の至り得るところなり』

一番になるには、競争がつきものです。しかし、一流になるには、必ずしも競争は必要ではありません。一番になれる人は一人ですが、一流になれる人は何人もいるということです。一番になるためには、どうしても過度の競争を強いられ、結果のみを大事にしがちです。一方、一流になるためには、過程を大切にすることが求められます。

毛涯先生のようにはいきませんが、一歩でも近づきたいと思っています。

七夕に思うこと2

7月7日(金)は七夕でした。昨年の学校だよりで、七夕が古くは奈良時代から続く行事だということを紹介しました。

ところで、日本には、古くから紙に願い事を書く風習が他にもあることをご存じでしょうか。それは、新月にまつわるものです。

ご存じのように、月は約30日で満ち欠けを繰り返します。満月から少しずつ欠け、約15日で新月になり、そして、新月から約15日かけて満月になります。昔の

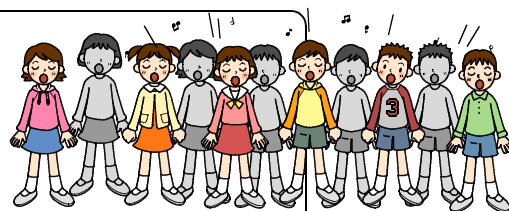


(3年生の廊下の七夕飾り)

人は、新月を再生の時と捉え、願いが叶えられる特別な瞬間と考えていたようです。日本では、明治の初めまで太陰暦を使っていたこともあり、今以上に月との関係が密接だったのかも知れません。太陽暦が使われている現在、この風習はあまり知られなくなったようです。

7月7日には昨年同様、全クラスで短冊に願い事を書いて飾りました。その一部を紹介します。

- ・久保先生と県大会に出場して恩返しできますように、
- ・卓球部がたくさん大会で優勝できますように
- ・大人になったら絵を書く仕事ができますように
- ・家族も私も幸せな一年になりますように
- ・この一年でクラスの思い出がたくさんできますように
- ・部活の先輩や先生にきちんと忘れずにあいさつが出来ますように
- ・バレー部の先輩方が夏の総体で勝てますように
- ・周りから感謝され、自分の意思で行動できる人になれますように
- ・ずっと家族が平和でいられますように



私の願いは、全校生と本校職員が、今年度の終わりに、充実した一年だったと振り返ることができることです。

卒業生が教育実習に取り組む

国分寺中学校の卒業生の丸茂恭徳さんが、6月に3週間教育実習に取り組みました。教員になるためには、教育免許を取得しなければなりません。そのためには、取得する免許の種類によって違いますが、各種の学校での教育実習の単位が必要になります。その後、各都道府県の採用試験を受けることになります。受験の際は、教員免許の取得が条件になります。

丸茂さんは、1年1組に所属し、藤森先生の下、先生になるための大切なことを現場で学びました。

今回の実習では、合唱コンクールの練習期間でもあったため、特別な体験が出来たと思います。ただ、残念なことに合唱コンクールの前に実習が終わってしまいました。



(実習生の授業の様子)

教育実習を振り返って

教育実習の3週間は、あっという間でした。私が先ず驚いたことは、生徒達の「当たり前を当たり前」の徹底ぶりでした。あいさつや靴の並べ方などは、本当に素晴らしいと思いました。この徹底が中学生を育て、立派に成長する大きな要因であると思います。

授業を担当させていただいたクラスは、しっかり話を聞いてくれて、実験にも積極的に取り組んでくれ、やりやすかったです。反応がきちんと返ってくるため、教材研究の際もクラス毎にテーマや内容を少し変えることができ、そのクラスにあった授業ができたと思います。教師という職業について実感として学ぶことができ、先生方から多くのことを教えていただきました。自分自身も非常にこの3週間で成長することができたと思っています。

この経験を必ず教師になってからも活かすとともに、これからも勉強していきたいと思えます。

教育実習生 丸茂

水泳春季県大会結果報告

3年女子	100M平泳ぎ	3位	瀧澤
	200M平泳ぎ	3位	瀧澤
2年男子	50M自由形	6位	中田
	100M自由形	10位	中田
1年女子	50M自由形	10位	関口
	100M自由形	8位	関口

